

# 小池臨時議員提出資料

平成17年10月18日



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%



## 基本認

政策目標に基づく更なる重点化は、効果的・効率的な研究開発の推進の観点から、極めて重要であると認識。

特に、環境分野においては、環境と経済の好循環を実現し、持続可能な社会を形成していくために、科学技術の果たす役割が大きいと認識。

環境分野におけるより具体的な政策目標や、今後5年間に重点投資すべき研究開発課題等については、環境行政を担う当省としてもその検討に貢献してまいりたい。

# 環境分野におけるより具体的な政策目標の例について

## 総合科学技術会議の「答申素案」における政策目標

## 環境省が考えるより具体的な政策目標の例

### 目標3「環境と経済の両立」関連

(4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服

脱地球温暖化

第一約束期間(2012)の削減目標達成 [短期]

ポスト第一約束期間の削減目標設定/達成 [中期]

温室効果ガス濃度の安定化 [(超)長期]

循環型社会

ゴミ処理量の削減、処分場逼迫の打開、不法投棄対策 [短期]

資源生産性の向上、リサイクルの質的向上、 [中期]

マテリアルフロー総量の低減 [中長期]

持続可能な循環型社会の構築 [長期]

(5) 環境と調和する循環型社会の実現

自然共生

都市河川や内湾の水質汚濁対策 [短期]

ヒートアイランド等都市環境問題対策 [短期]

生物多様性の減少対策 [中長期]

自然共生型の都市と流域圏を適正に管理 [中長期]

自然と人間が共生する社会の実現 [長期]

### 目標6「安全が誇りになる国」関連

(11) 国土と社会の安全確保

安全・安心

アスベスト、硫酸ピッチ等の問題への対応 [短期]

POPs適正処理の完了(負の遺産の解消) [中長期]

「新たな環境リスク」への対応 [中長期]

環境リスクの望ましいレベルへの低減・維持(安心・安全確保) [長期]

(注)「安全・安心」は、「環境と調和する循環型社会」にも寄与。

# 環境分野の研究開発の基本的な推進戦略のイメージ

## 【重視すべき事項】

### ➤ 政策的課題に対応した重点領域

- ・脱温暖化社会構築領域
- ・循環型社会構築領域
- ・自然共生型社会構築領域
- ・安全・安心で質の高い社会構築領域  
(環境リスクの評価・管理等)

### ➤ 成果の一層の社会還元 ←

環境技術の普及促進  
アジア地域等を中心とする国際的取組の強化

### ➤ 総合的・統合的アプローチ ←

研究分野間の相互影響  
予測的・予防的研究の推進  
人文・社会科学研究 / 政策研究の推進

### ➤ 環境研究を支える基盤整備 ←

人材の育成・組織の整備  
地球観測等モニタリングの推進  
重要環境試料の収集・保存・活用

## 【目指すべき将来像】

### ➤ 持続可能な社会

- ・脱温暖化社会
- ・循環型社会
- ・自然共生型社会
- ・安全・安心で質の高い社会

### ➤ 環境と経済の好循環

## 【現状認識】

- ・ 環境問題の解決に資する科学技術に対する国民の期待
- ・ アジアの経済・環境との密接な関わり
- ・ 環境問題の複雑化・多様化
- ・ 対処療法的施策からの脱却(予防・予測的対策への転換)
- ・ 環境研究人材の不足

本年4月までに専門家に環境分野の今後の戦略についてご検討いただいた際の方向性  
(今後、本件について中央環境審議会に諮問予定)

# 今後のスケジュール

中央環境審議会における検討内容を、総合科学技術会議が策定する分野別推進戦略(環境)に反映させていく予定

総合科学技術会議

科学技術基本計画

中間まとめ

基本計画策定

閣議決定

分野別推進戦略(環境)

環境省  
(中央環境審議会)

H17.3. 5. 7. 9. 11. H18.1. 3.

情報交換

情報交換

環境研究・技術開発推進戦略

諮問・答申取りまとめ

環境基本計画

科学技術関連の事項も含む

第3次環境基本計画原案とりまとめ

パブコメ等

H17.3. 5. 7. 9. 11. H18.1. 3.

(独) 国立環境研究所

国環研第2期中期計画

第2期中期計画の検討